

平成 29 年 度

九州大学大学院工学府修士課程

学 生 募 集 要 項

(学部3年次学生を対象とする特別選抜)

## ■ 工学府のアドミッションポリシーとカリキュラムポリシー ■

### <アドミッションポリシー>

工学は、物理学や化学などの基礎科学分野における原理と法則をもとに人類文明の持続的発展を恒久的に探究する学問です。本学府では、工学を通して人類文明の持続的発展に貢献できる研究者・技術者・教育者の育成を目的としています。

本学府での就学を目指す学生には次のことが期待されます。

- ・基礎知識を踏まえて応用研究に取り組む意欲のある学生
- ・新しい学問分野に挑戦する積極的な学生
- ・忍耐力をもって真実探求を推進できる学生
- ・技術者としての倫理観を有する学生

### <カリキュラムポリシー>

工学府には、物質創造工学専攻、物質プロセス工学専攻、材料物性工学専攻、化学システム工学専攻、建設システム工学専攻、都市環境システム工学専攻、海洋システム工学専攻、地球資源システム工学専攻、共同資源工学専攻、エネルギー量子工学専攻、機械工学専攻、水素エネルギーシステム専攻及び航空宇宙工学専攻の13専攻を置き、教育研究を通してエネルギー・物質・環境・システムに関する深い専門知識と探求創造能力を教授育成するとともに、高い倫理感と国際性をもって工学に携わる研究者・技術者・教育者を組織的に養成します。

本学府では、この目標を達成するため、以下のような教育を行います。

- ・基礎から応用にわたる高度な専門知識についての体系化された教育
- ・哲学、倫理、政治、経済、国際関係等に関する広い知識教育
- ・豊かな人間性、課題探究・解決能力、創造性を育む教育

※ 各専攻のアドミッションポリシー及びカリキュラムポリシーは、工学府ホームページに掲載しています。[\(http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/\)](http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/)

## 1. 出 願 資 格

平成29年3月末日において学校教育法第83条に定める大学に3年以上在学した者で、本学府が所定の単位（科目）を優れた成績をもって修得したと認めたもの

（注）平成29年3月末日までに大学を卒業見込みの者、既卒業者、外国において学校教育における16年の課程を修了した者等本学府が実施する修士課程一般選抜の出願資格を充たす者は本選抜への出願はできない。

## 2. 出願資格の事前審査

出願資格については、次のとおり事前審査を行う。

### (1) 事前審査に必要な書類

- ① 事前審査申請書〔本学府所定の用紙〕
- ② 成績証明書〔学部3年後期までの所定の単位（科目）の成績を証明したもの〕
- ③ 在籍大学学部・学科の履修要項等

〔九州大学工学部在籍者は提出を要しない。〕

### (2) 事前審査の時期

平成29年2月9日(木)から平成29年2月15日(水)正午までに各専攻長あて必要書類を提出すること。  
〔郵送の場合は、書留郵便として封筒表面に「工学府修士課程（飛び級）事前審査申請書等」と朱書すること。〕

（あて先）

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地 九州大学大学院工学府〇〇専攻長

### (3) 事前審査の結果

事前審査の結果は、平成29年2月17日(金)までに専攻長から本人あてに通知する。

### (4) 事前審査の対象とする所定の単位（科目）は、各専攻毎に異なるので、申請時に該当専攻長に問い合わせること。

## 3. 募 集 人 員

専 攻		人 員	専 攻		人 員	専 攻		人 員
物質科学工学専攻群	物質創造工学専攻	若干名	地球環境工学専攻群	建設システム工学専攻	若干名	機械航空工学専攻群	機械工学専攻 (機械工学コース)	若干名
	物質プロセス工学専攻	若干名		都市環境システム工学専攻	若干名			
	材料物性工学専攻	若干名		海洋システム工学専攻	若干名		水素エネルギーシステム専攻 (水素エネルギーシステムコース)	若干名
	化学システム工学専攻	若干名		地球資源システム工学専攻	若干名			
				共同資源工学専攻	若干名			
		エネルギー量子工学専攻	若干名					

（注）第1志望専攻のみとし、第2志望専攻は認めない。

※共同資源工学専攻について

共同資源工学専攻は、北海道大学大学院工学院と九州大学大学院工学府が共同して構成する大学院共同教育課程で、平成29年4月から学生を受け入れます。

持続的資源系人材育成プログラムホームページ <http://www.mine.kyushu-u.ac.jp/jpsre>

（詳細はホームページを確認すること。）

#### 4. 出願手続及び出願書類

事前審査により出願資格の認定を受けた志願者は、次の書類をそろえ、願書受付期間に工学部等教務課学生係に提出又は郵送すること。郵送の場合は必ず書留郵便とし、封筒表面に「工学府修士課程入学願書（飛び級）」と朱書すること。

（あて先）

九州大学工学部等教務課学生係（伊都キャンパス）

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地

- (1) 入学願書 本学府所定の用紙
- (2) 照合票・受験票 本学府所定の用紙
- (3) 受験票返送用封筒 本要項に綴込みの所定の封筒に氏名、あて先及び郵便番号を明記し、郵便切手372円（速達料金を含む）を貼ること（九州大学工学部在籍者は不要）。
- (4) 住所票 本要項に綴込みの用紙（シール）に志願者の住所（入学願書の記載と同じ）・氏名を記入すること。
- (5) 入学検定料原符 本要項綴込みの用紙の所定欄に金融機関の出納印が押印された『「九州大学」入学検定料振込金受付証明書（C票）』を貼付して提出すること。

#### 5. 入学検定料について

入学検定料 30,000円

入学検定料は次の方法で納付すること。

本要項に綴込みの『振込依頼書』の太枠で囲まれている記入欄に、必要事項を全て黒ボールペンで正確・明瞭に記入し、A・B・C票を切り離さずに銀行窓口へ持参し、振込み手続きをすること。

振込みを済ませたら、銀行窓口で返還された書類のうち、『「九州大学」入学検定料振込金受付証明書（C票）』を本要項に綴込みの『入学検定料原符』の「九州大学」入学検定料振込金受付証明書貼付欄に貼付し、併せて同原符に志望学府・住所・氏名・連絡先（TEL）を記入のうえ、出願書類として提出すること。

『振込依頼書』、『入学検定料原符』記入の際は、本要項巻末の「記入上の注意」を参照すること。

（注）

- ゆうちょ銀行・ATM・インターネットでの振込みはできない。  
なお、三井住友銀行本支店にて振込みをする場合の振込手数料は無料となるが、他行から振込む場合は、振込手数料は志願者が負担することとなる。
- 振込みは、平成29年2月16日（木）以降とし、「電信扱」に限る。

#### 6. 願書受付期間

平成29年2月20日（月）～2月24日（金）午後5時まで（郵送の場合も同日同時刻までに必着のこと。）

## 7. 試験日時, 試験科目及び試験場

月 日	時 間	試 験 科 目		試験場	備考
平成29年 3月8日(水) 3月9日(木)	自 午前9時 至 午後5時	地球環境工学専攻群 ※学科試験(通常の入試に準じて定める) 口頭試問		九州大学 工学部 伊都地区	
		機械航空工学専攻群 ※学科試験(通常の入試に準じて定める) 口頭試問			
		物質科学工学専攻群 ※選択した科目について筆記試験又は口頭試問 を行う。			
		物質創造工学 専攻	機能物質化学系科目, 分子シ ステム工学系科目のうちから1科 目選択		
		物質プロセス 工 学 専 攻	化学工学系科目, 材料工学系科 目のうちから1科目選択		
		材料物性工学 専攻	機能物質化学系科目, 分子シ ステム工学系科目, 材料工学系科 目のうちから1科目選択		
		化学システム 工 学 専 攻	化学工学系科目, 機能物質化学 系科目, 分子システム工学系科 目のうちから1科目選択		

※詳細は各専攻に問い合わせること

### 地球環境工学専攻群

- 建設システム工学専攻
- 都市環境システム工学専攻
- 海洋システム工学専攻  
(建設都市系) 建設都市事務室 TEL 092-802-3366  
(船舶海洋系) 海洋システム工学部門事務室 TEL 092-802-3442
- 地球資源システム工学専攻
- 共同資源工学専攻  
地球資源システム工学部門事務室 TEL 092-802-3310
- エネルギー量子工学専攻  
専攻長 head-qpn@nucl.kyushu-u.ac.jp  
エネルギー量子工学部門事務室 TEL 092-802-3542

### 機械航空工学専攻群

- 機械工学専攻
- 水素エネルギーシステム専攻  
機械工学部門事務室 TEL 092-802-3258
- 航空宇宙工学専攻  
航空宇宙工学部門事務室 TEL 092-802-3000

### 物質科学工学専攻群

- 詳細は、各受験科目毎に以下の事務室に問い合わせること
- 化学工学系科目  
化学工学部門事務室 TEL 092-802-2801
  - 機能物質化学系科目  
応用化学部門(応化機能)事務室 TEL 092-802-2893
  - 分子システム工学系科目  
応用化学部門(応化分子)事務室 TEL 092-802-2852
  - 材料工学系科目  
材料工学部門事務室 TEL 092-802-2985

## 8. 合格者発表

平成29年3月16日(木) 午後4時頃、本学工学部等教務課ホール内掲示板に発表するとともに、合格者に文書で通知する。

なお、合格者発表に関する電話等による問い合わせには応じない。

## 9. 入学時期

平成29年4月1日

## 10. 入学手続

入学手続書類は、3月16日(木) 頃送付するので、所定の期日までに入学手続を完了すること。

### (1) 入学手続期間

平成29年3月17日(金) から3月22日(水) まで

### (2) 入学手続の際に納付する経費等

① 入学料 282,000円(予定)

② 授業料 前期分 267,900円(予定) (年額 535,800円(予定))

授業料については、入学年度の前期分から「預金口座振替制度」により納付することとなる。

なお、平成29年度前期分の授業料は平成29年4月27日(木) に引落されるので、入学手続の際に届出た預金口座への入金を済ませておくこと。

(注) 上記の納付金額(入学料・授業料)は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

## 11. 注意事項

(1) 本出願資格により、本大学院工学府修士課程に入学した者は、学部学生としては学籍上退学となり、学士の称号は受けられない。よって、各種国家試験等の受験資格で、大学の学部卒業が要件となっているものについては、受験資格がないことになる。

なお、学士の学位については、所定の要件を満たした後、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構<sup>(注)</sup>に申請することにより取得できる途が開かれている。

(注) 問い合わせ先：独立行政法人大学改革支援・学位授与機構 <☎(042) 307-1550>

(2) 願書受理後は、記載事項の変更は認めない。また、検定料の払い戻しは行わない。

## 12. 障害等のある入学志願者について

本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を常時受け付けている。

受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前できるだけ早い時期に「15. 問い合わせ先」まで相談すること。

## 13. 長期履修制度について

工学府では、学生が職業を有する、或いは障害がある等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を導入している。

この制度の適用を申請し認められた場合、標準修業年限分の授業料を長期履修の年数で除した額を毎年納入することになる。

なお、手続等の詳細は、入学手続時に通知する。

## 14. そ の 他

- (1) 募集要項（願書）等の郵送を希望する者は、氏名・あて先及び郵便番号を明記し、140円切手を貼った返信用封筒（角2型封筒（縦33.2cm・横24.0cm））を同封して工学部等教務課学生係に申し込むこと。
- (2) 自然災害等による入試日程への影響が懸念される場合には、本学府インターネット web サイトのトップページで実施についての告知をするので確認をすること。  
URL <http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>  
（インターネットにアクセスできない場合は、工学部等教務課学生係あて電話で照会すること。）
- (3) 受験票未着の場合は、試験当日までに工学部等教務課学生係に申し出ること。

## 15. 問い合わせ先

〒819-0395 福岡市西区元岡744番地  
九州大学工学部等教務課学生係  
☎ (092) 802-2724

### 〔備考〕 出願書類における個人情報の保護について

- (1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
  - ① 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
  - ② 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
- (2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。
- (3) 共同資源工学専攻の合格者のみ、出願に当たってお知らせいただいた個人情報を入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために本学及び北海道大学において利用します。

平成28年11月

九州大学大学院工学府

URL <http://www.eng.kyushu-u.ac.jp/>



## 工学府各専攻研究分野

専攻	研究内容等
物質創造工学	応用無機化学, 有機機能分子化学, 人工酵素化学, 分子システム化学, バイオミメティクス, ソフトマテリアル化学, 医用生物物理化学, 量子物性化学, 有機光エレクトロニクス, 機能分子材料工学, 医療材料化学
物質プロセス工学	反応制御学, 材料物理化学, 材料電気化学, 材料複合工学, 化学機能材料工学, 生体材料工学, 応用材料工学, 結晶塑性学, 計算材料工学
材料物性工学	生体分子システム, 高分子化学, 応用光化学, 機能物質工学, 材料組織学, 構造材料工学, 機能材料工学, 機能材料組織学, 材料解析学
化学システム工学	応用分析化学, 化学環境工学, バイオプロセス化学, 分子情報システム, 生体分子工学, 工業物理化学, 生物化学工学, 熱操作学, 流体操作学, プロセスシステム工学, 生体-界面工学
建設システム工学	建設材料システム工学, 生産システム工学, 構造解析学, 建設振動工学, 地盤工学, 防災地盤工学, 地圏環境システム工学
都市環境システム工学	交通システム工学, 都市システム計画学, 都市工学, 建設設計工学, 機能システム工学, 都市環境工学, 流域システム工学, 環境制御工学, 水圏環境工学, 景観工学, 生態工学
海洋システム工学	システム計画学, 環境流体力学, 沿岸海洋工学, 船舶海洋流体力学, 船舶海洋運動制御工学, 構造システム工学, 船舶設計・海洋環境情報学, 海洋エネルギー資源工学
地球資源システム工学	応用地質学, 物理探査学, 地球熱システム学, 資源開発工学, 岩盤・開発機械システム工学, 資源処理・環境修復工学, エネルギー資源工学
共同資源工学	鉱床学, 物理探査工学, 地球熱学, 資源生産工学, 資源採掘システム工学, 地球環境修復工学, 石油貯留層工学
エネルギー量子工学	原子核・素粒子物理, 量子線計測, 加速器科学, 加速器駆動新エネルギーシステム, ビーム医療応用基礎科学, 照射効果, ナノマテリアル, 透過電子顕微鏡解析, 金属・セラミクス材料, シンクロトン光・量子ビーム利用, 構造物性, 資源環境機能材料, 核燃料, 放射性廃棄物処理処分, 原子力安全工学, 熱流動工学, 計算科学技術, 原子炉・核融合炉, プラズマ, 輸送現象, エネルギー利用, システム安全, 非線形物理, 応用物性, 応用計測, 複雑系科学, 強相関系物理, 極限物性物理, 量子ナノ物性, 表面物理, 結晶成長, 光・電子物性
機械工学	固体力学, 構造材料評価, 流体制御, 流体科学, 熱物質移動, 熱エネルギー変換工学, 反応性ガス力学, エンジンシステム, 機械波動音響学, 機械振動学, 構造動力学, システム工学, 制御工学, ヒューマンセンタードロボティクス, 精密加工学, 材料加工学, 設計工学, 生体機能工学, 流体医工学, 水素適合材料・破壊学
水素エネルギーシステム	固体力学, 水素利用プロセス, 燃料電池システム, 材料強度学, トライボロジー, 熱流体物理, 反応性ガス力学, 水素機能材料学, 水素製造プロセス, 先進水素システム
航空宇宙工学	推進工学, 流体力学, 極限物理工学, 強度振動学, 軽構造システム工学, 誘導・制御工学, 飛行力学, 宇宙機ダイナミクス, 宇宙輸送システム工学, 宇宙利用工学, 複合連続体力学, 大気流体工学, ナノメカニクス